

【おばま環境保全活動】

～みんなで環境を考え、 みんなで行動しよう～



「小浜美郷小学校 環境学習①」を紹介します

令和5年9月

『活動者』

参加者：小浜美郷小学校 56人（4年生53人、引率3人）

講師等：福井県立大学、環境コンサル BO-GA、コウノトリの郷づくり推進会、
小浜市農政課・環境衛生課

『活動内容』

「調べてみよう！みさとの自然環境（田んぼと水路）」をテーマに、国富地区内の生き物調査と水田魚道、退避溝などの施設見学をしました。

『活動詳細』

6月30日（金）、国富地区で、自然環境学習の一環として、**生き物調査と、水田魚道*1、退避溝*2、コウノトリの巣塔見学などの施設見学**を行いました。

当日は4年1組と4年2組に分かれて、水路（次吉）と田んぼ（太良庄）で生き物調査を行いました。

次吉の水路では、児童たちが、タモ網とバケツを持って、メダカやドジョウ、アメリカザリガニ、エビなどを採取し、たくさんの**生き物が生息**していることを確認しました。

また、太良庄区にある田んぼでも、タニシなどの水生生物や、ドジョウ、アカハライモリなどを捕まえ、**たくさんの生き物を観察**することができました。

海に近い次吉の水路と、山側にある太良庄の田んぼでは、水生生物の違いがみられました。



採取した生物を観察する様子



水路の生物を捕まえる様子



採取されたザリガニ



採取されたメダカ

水田魚道、退避溝の施設見学では、コウノトリの郷づくり推進会から**水田魚道、退避溝の役割やコウノトリの餌場環境を整備することの大切さ**について説明があり、児童らは、興味深そうに聞き入っていました。



太良庄の田んぼの様子

※この日は、写真右奥に、今年生まれたコウノトリ3羽が並び、餌を食べている様子がみられました。

児童たちは、自然環境学習を通して、国富地区の**生き物や自然環境**に触れ、改めて**コウノトリが飛来する地元の自然の豊かさ**を実感しました。

*1 退避溝：田んぼの一部を溝状に掘り下げることによって、水生生物が中干しなどの渇水時に退避できるようにした設備

*2 水田魚道：段差のある水田と水路を人工的につなぎ、魚が出入りできるようにした設備